

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	山形森林管理署最上支署	連絡先	(0233)62-2122
所管する業務の概要	山形県最上地域の国有林野の管理経営、治山事業の実施等		

1. 基本的な心構え・行動

・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
・随時、課内や担当者間の打合せを行い、仕事の進め方について相談している。 ・各種の要請に対して、放りっぱなしにしないことを心掛け、実施できるものは実施するという姿勢で対応し、最大限期待に応えるための方法を考えている。 ・要望の中には必ずしも合理的でないものもあるが、応えられない場合には、その理由・背景を丁寧に説明している。 ・各種事業の遂行と自然保護とを両立する観点から、希少な野生動物であるクマタカの生息地について事業時期を調整するなど、生態系に配慮した事業実施に心掛けている。	・丁寧な対応が「何でもいうことを聞く」ということではないので、左に示した対応の考え方を心掛けながら、できないものはできないことをしっかりと説明することが大事である。

2. 政策・事業等の企画立案・推進

・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
・これまで署の事業内容を細かく外部に知らせる機会が少なかったため、今年度は、県出先機関と市町村とが参加する連絡会議を開催して情報交換を行った。 ・地域における課題をとりあげる「地域発案システム」の中で、一般住民との意見交換を行っている。	・地域住民や県・市町村の要望を把握するためには、会議等の開催で満足することなく、様々な機会を捉えていくことが必要である。

・ 国有林治山事業と他事業の調整を図る治山砂防連絡会議や、民有林直轄地すべり防止事業について県・村が参加する地元協議会を開催している。 ・ 地域で問題となっているナラ枯れ被害について、県出先機関・市町村とともに調査を行い、情報提供を行っている。 ・ 薪炭共用林の伐採等で代表者と話す機会があるときには、地域のニーズをできるだけ聞き取っている。	
---	--

3. リスク管理			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 行き違いを無くすため、課長間の打合せや課内の打合せのほか、担当をまたがる事案はその都度担当者が集まって打合せを行っている。 ・ 地元市町村等との情報交換などを通じて国民目線での事業を行う。 ・ 課内打合せを定期的に行う、現場との意思疎通を図るなど「報・連・相」をしやすい雰囲気づくりをする。		・ 課長間で実施している週一度の打合せについて、なかなか全員が揃わず開催を延期することもあったので、打合せの日時を決めて、各自で業務調整を行うことを確認し、確実な実施につなげることとした。	

4. 食の安全に関する取組			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
・ 国有林野事業では、食の安全に係る政策を実行する機会はないが、最上地方では原木ナメコが地域の特産品となっており、その原木用に木材を販売している。地域の産地づくり協議会への参画等を通じて、生産、流通、販売等の取組状況を把握している。			

5. その他の重要な取組			

・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策